

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 市長懇談)

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【エンクロスの問題について】</p> <p>エンクロスに関しては急にこういう施設だと聞かされた印象なので、しっかり市長の公約どおり検証すれば市民も納得すると思う。市が実行しようという事業は市民に丁寧に説明をして納得ができるようにしてほしい。</p>	<p>エンクロスに関しては、どのような場でも同じようなご意見をいただく。それだけ市民の皆さんにとって驚きや怒りがあったと思う。条例という形で一定意以上のプロジェクトは事前に市民の皆様に公表し、ご意見を聞き反映できるものは反映し、反映できないものはその理由をきちんと公表し次のステップへ進むということを確認させていく必要があると思っている。エンクロスに関しても毎年委託料を払うことになるのであれば、検証し安い金額で効果をあげられないか絶えず検討していくことが大事。</p> <p>また、駅周辺の効果として、客が増えた飲食店があるというのは事実のようだ。ちなみに、まちづくり延岡という会社が高田饅頭あたりの区画に5階建のビルにする計画も検討している。建物の共用部分に特定の企業が入所する場合は、共用部分は国と市が一定の補助をするといった負担割合の中で、国も了解している。仮に市として進めるべきという判断になったとしても、事前に何らかの形で市民の皆様にお聞きし、情報提供することをやっていかねばと考えている。</p>	<p>一定金額以上の施設整備については、完成後の運営経費見込み額も含め、案の段階で市民の皆様公表し、ご意見をいただき、それを最大限反映しながら次の段階に進む形で市政を進めるべきと考えており、既にパブリックコメントを順次実施しておりますが、これをきちんとした制度にするための条例制定に今後取り組んでまいります。</p> <p>なお、現時点ではエンクロス開業の効果が周辺商店街には及んでいないと考えています。</p> <p>【経営政策課】</p> <p>○「さらなる情報公開・市民参加条例検討事業」</p> <p>【新規】(H31 年度予算：424 千円)</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 市長懇談)

<p>【エンクロスの問題について】</p> <p>毎年1億3千万円かかるのか。現在ある施設の建設費も含めてどれくらいで償却するのか。それを考えるとエンクロス全体をやめたほうがいいのではと思っている。売却し第三者で営業させれば市にどれくらいのメリットがあるのかも考える必要があるのでは。</p>	<p>エンクロスは収益を上げる施設としては整備されていないので、売り上げから回すという考え方ではない。建設費の補助金もあるが、市が一旦借金をして返済分は市が負担していく。加えて運営経費1億3,500万円も市が負担する。しかし、私が就任した時点で建物がほぼ完成していた。しかも他の目的に転用できないようになっていた。決まったからやるのではなく、毎年検証していく必要があると思う。集客目標を達成できない場合は、市の委託料を増減すべきではということも、事業者側より検討しますとの回答を得ている。就任前の議会で、この業者が5年間管理していくという議決を受けているので、5年間毎年検証していく。</p>	<p>エンクロスの検証については、現在、現行の指定管理業務について、一つ一つ業務内容やその実施方法等について検証を行い、最小の経費で最大の効果を上げるために見直すべき点は何かなどについて、指定管理者と協議を行っています。</p> <p>今後この協議を踏まえ、必要な対応を行ってまいります。</p>
<p>【エンクロスの問題について】</p> <p>エンクロスが出来たから商店が潤ったということと、エンクロスが市のものということは全くつながらない。市の所有物だからお客さんが増えたことについては切り離さないといけないと思う。売ったらどうか。今売ったらどれだけの効果があるのかを聞きたい。それだけの検討なら1週間もかからないのではないか。</p>	<p>ご指摘の事も含めて、今後どこかで考えていく事だとは思う。駅の待合室の費用もこの建物の中に入っている。現実的には売却して他の目的に使うという訳にはいかない。売ることを考えた場合、どういう売り方をするのかも一つの大きな問題になると思う。絶えずゼロベースから検証するといった視点を持ちながら市民にとってどういったまちづくりをすれば賑わいを取り戻すのか考えつつ、税金の使い道を考えていかなければならないと思う。</p>	<p>エンクロスの検証については、現在現行の指定管理業務について、一つ一つ業務内容やその実施方法等について検証を行い、最小の経費で最大の効果を上げるために見直すべき点は何かなどについて、指定管理者と協議を行っています。</p> <p>今後この協議を踏まえ、必要な対応を行ってまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 市長懇談)

<p>【水道料金について】</p> <p>以前市長は、水道料金は国から補助が出るから安くできると言っていたが、議会で否決された。年金も減ってきているので少しでも安くしてほしい。</p>	<p>料金だけを財源とするのではなく、国の補助金をフルに活用し、料金を上げない形で対応する方法を議会で提案したが否決された。議会を解散することも考えたが、料金を一旦上げて、国の補助金の金額がまとまった段階で財源として使うということを取り組んでいる。改めて調べたところ、国の財政支援策で出来る部分が1億円分出てきたので、6月補正で計上した。これは30年度で終了する補助金なので、最終年度に滑り込んだ形となった。翌年度以降活用できるよう今働きかけを行っている。他の市町村にも賛同いただき、国の支援策で強い水道を作っていくことを働きかけている。</p>	<p>国の支援策活用を検討し、昨年6月議会で国の支援策約1億円を活用する予算が可決されました。さらに平成31年度は4,400万円国の支援策を活用する予定であり、今後も国の支援策を最大限活用し、水道料金値下げの可能性を探りたいと考えております。</p>
<p>【エンクロスについて】</p> <p>1億3,500万円という金額は減価償却されると思っていたが、5年ごとに見直しということなので、5年間は仕方ないが、毎年検証していくのなら安心。市の貴重な財源である。いろんなことを公開せずに作ったのがエンクロス。3割程の人はその使い方にはっきりしている。未来永劫に金を出すのではなく、少しずつセーブしながら検討して行ってほしい。</p>	<p>まずは絶えず検証していく。市民の皆さまにとって何が必要かを考えて、最初から排除せず、これまで議会の中で話し合われてきた枠組みの中でベストを尽くすことがとり得る手段だと考え直し、今後も皆さまの声をお聞きしながら取り組んでいきたい。</p>	<p>エンクロスの検証については、現在現行の指定管理業務について、一つ一つ業務内容やその実施方法等について検証を行い、最小の経費で最大の効果を上げるために見直すべき点は何かなどについて、指定管理者と協議を行っています。</p> <p>今後この協議を踏まえ、必要な対応を行ってまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 市長懇談)

<p>【南海トラフ関連の地震について】 高齢者など逃げようにも逃げられない人が多くいる。市はそういった人達をきちんと把握しているのか。具体的にそのあたりの計画を市民にしっかりと伝えてほしい。</p>	<p>高齢者や一人暮らしの方、障がいをお持ちの方など、災害時に助けを必要とする方についての調査は、ほぼ終わりにかけている。これからは区長等に提供していかご本人の了解をいただくことになる。情報がとれている地域とそうでない地域とでは避難活動に大きな差が出てくるため、急いで進めている。情報提供など、皆さまのご協力をお願いしたい。また、この調査も絶えず見直しをしていかなければならない。</p>	<p>市では既に避難行動要支援者名簿を作成し、現在その公表の可否について確認作業を行っています。 今後この確認作業が終われば、支援を要する方々を地域ごとにしっかり把握できますので、その上で更なる対応について地域の皆様方と協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>【土々呂下水ポンプ場について】 ごく身近なところに土々呂の下水ポンプ場がある。海拔 2m くらい。浸水対策は万全だろうか。10m の津波が来た時など大丈夫なのか。あのポンプ場が止まるとトイレの水など排水できなくなる。</p>		<p>土々呂地区には、主なポンプ場として、土々呂雨水ポンプ場（妙見橋横）と土々呂汚水中継ポンプ場（土々呂公園横）があります。雨水は雨水ポンプ場から土々呂湾へ排水し、トイレ等の汚水は汚水ポンプ場から下水処理場へ送水して処理します。 県が策定した「津波による浸水ハザードマップ」によると、土々呂（雨・汚水）ポンプ場は 5.0m から 10.0m の津波が想定されているため、現状のままでは被害は避けられません。また、土々呂ポンプ場以外の下水道施設についても、ほとんどが浸水区域内に建設されているため対策を急ぐ必要はありますが、費用が高額になることから事業の長期化が予想されます。 この様な状況ですが、県北部港湾事務所では土々呂漁港などの沿岸に防潮堤等の設置を計画するなど、他の行政機関でも津波対策は検討されていますので、今後の下水道施設の対策についても、この様な計画の進捗状況や実施の可能性等について調整を図りながら総合的に判断したいと考えています。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 市長懇談)

<p>【ふるさと納税について】</p> <p>延岡は県内で低い方から数えた方が早い。税収を上げる方策はないのか。</p>	<p>他市町村と比べ大きな差があるのも事実。返礼品の差が一つとしてあげられるが、延岡には海の幸など、都城では手に入らない返礼品を持っている。また延岡には旭化成関係者という強い味方が全国にいる。今は繋ぐ政策の一つとして、ふるさと納税にご協力いただけるようお願いしたいと思っている。7月には体制を強化し、企業の方々や東京の延友会などに行ってお願ひしているところ。市民の皆様にもご協力いただき、親戚や友人に呼びかけていただければ、もっと大きな効果が期待できると思う。</p>	<p>昨年7月から本格的に取り組み、返礼品の発掘や公募とともに、ポータルサイトの活用や首都圏における旭化成関係者の集まりのほか、高校同窓会などでのPRも行ってきたことで、本年1月末時点で対前年度比 207.4%となっておりです。</p> <p>今後さらに寄附を増やすため、メールマガジンの発行やさらなるポータルサイトの活用にも取り組み、日本一を目指して頑張っております。</p>
<p>【学校の冷房設備について】</p> <p>今年の設置は無理だと思うが、来年度以降、どういう対応をするのか。</p>	<p>ご存じのとおり、全部の教室に設置すると10数億円必要となり、相当な財源が必要となる。国の補助金を活用しながらでなければ設置は難しいが、国の動向を見ながらやっていく必要がある。また学校全体で取り掛からなければならない、夏休みを利用するなど工事の期限が限られてくる。また、設置する学校の順番をどうやって決めるのかなど、課題は多い。まさに検討している最中である。いずれにしても、普通教室でエアコンがついていないのは県内では延岡市だけ。早急に検討していかなければと考えている。</p>	<p>国の方針を受け、全ての小・中学校の普通教室にエアコンを設置すべく平成30年度中に必要な予算計上や発注などを行いました。</p>